

みなみっ子だより

未来を拓く人に

創立五十周年記念事業の一つとして、正門のところに二宮金次郎の台座の設置をしていただきました。除幕式は、3月4日に行う予定です。この五十周年記念が本校の新たな出発の節目であることから、二宮金次郎像の台座に「未来を拓く人に」と刻ませていただきました。元御津町長の安信治雄様に揮ごうしていただきました。この予測困難な時代の中で、どのような社会になったとしても、子どもたちがたくましく、柔軟な発想と人を大切に思う豊かな心で、この時代を切り拓いていってくれることを願っています。

さて、二宮金次郎は、幼いころ両親を早くに亡くし親戚の家にあずけられます。家の仕事を手伝いながらも、勉強がしたくて自分で菜の花を育て、その種を売って得たお金で本を買い勉強したそうです。田植えの季節には、あぜ道に捨てられている稲の苗を拾い集め、空き地に植えたところ、たくさんのお米を収穫することができ、そのお米を売ったお金で、本を買い勉強したそうです。この経験から「積小為大（せきしょういだい）」（小さなことでも積み重ねると大きな結果につながる）ということに気付かれます。自分の経験と学んで得た知識を村人たちに伝え生涯で六百を超える村々を飢饉から救ったと言われています。世のため、人のために一生懸命に働き物を大切にせず無駄を省き、将来のために蓄え、世のため、人のために使う。そんな金次郎の姿は、時代を超えて、これから未来を拓いていく子どもたちにも多くの大切なメッセージを伝えてくれていると思います。

3月5日に予定していた創立五十周年記念式典は、まん延防止等重点措置期間中ということで、3月9日に規模を縮小した形で行おうと思っています。6年生が在校生代表で参加し、他の学年は生中継でテレビ視聴を通して式に参加する予定です。また、オープニングとして6年生による和太鼓演奏、そして記念演奏会では、民謡家の田中みずほ先生と6年生による和太鼓演奏も予定しています。この記念式典は、各町内や企業様から多くのご寄付も頂き、地域の方々が実行委員となって準備を進めてくださっています。規模を縮小してでも、温かい心のこもった記念式にしていきたいと思っています。

